

学校図書館支援センターだより

新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897)65-1301



2025年・第79回読書週間

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」になったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。

それから約80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。今、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことにかわりありません。「読書週間」が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。



ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使いであり、代表的なポリスで文化の中心地アテナの聖鳥でもありました。

森の奥深く、静かに瞑想にふける「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてふさわしいと考え使用しています。

標語について

「こころとあたまの、深呼吸。」

磯辺 菜々さん 作者の言葉

めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。こころが震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。



2025・第79回 読書週間

10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



新居浜市学校図書館の様子（ビフォー・アフターと掲示物）

泉川中学校 図書館整備 R7.8.5～6

整備前



整備後



今年度、夏季休業中に泉川中学校と別子小中学校の図書館を整備しました。

泉川中では、学校司書8名とセンター長、図書館主任や国語科の先生方、校務員さん、全員の力を合わせて廃棄図書の選別、書架の整理を行い、見違えるような図書館になりました。

中学校は学校司書の配置がなく、新刊は入っていても、整備等ではできていない学校もあるのではないかと推察します。

図書館整備の希望については教育委員会学校図書館支援センターまで。

別子小中学校図書館整備後の廃棄図書です。年数は経ていますが、まだまだ活躍できる図書です。希望する放課後児童クラブに移管しました。



子どもたちのアイデア、作品のコーナー

図書館を使った授業で作った作品、委員会で工夫して制作したものなど、どれもアイデア満載です。図書館に来るたびに増えていく楽しみがあります。

